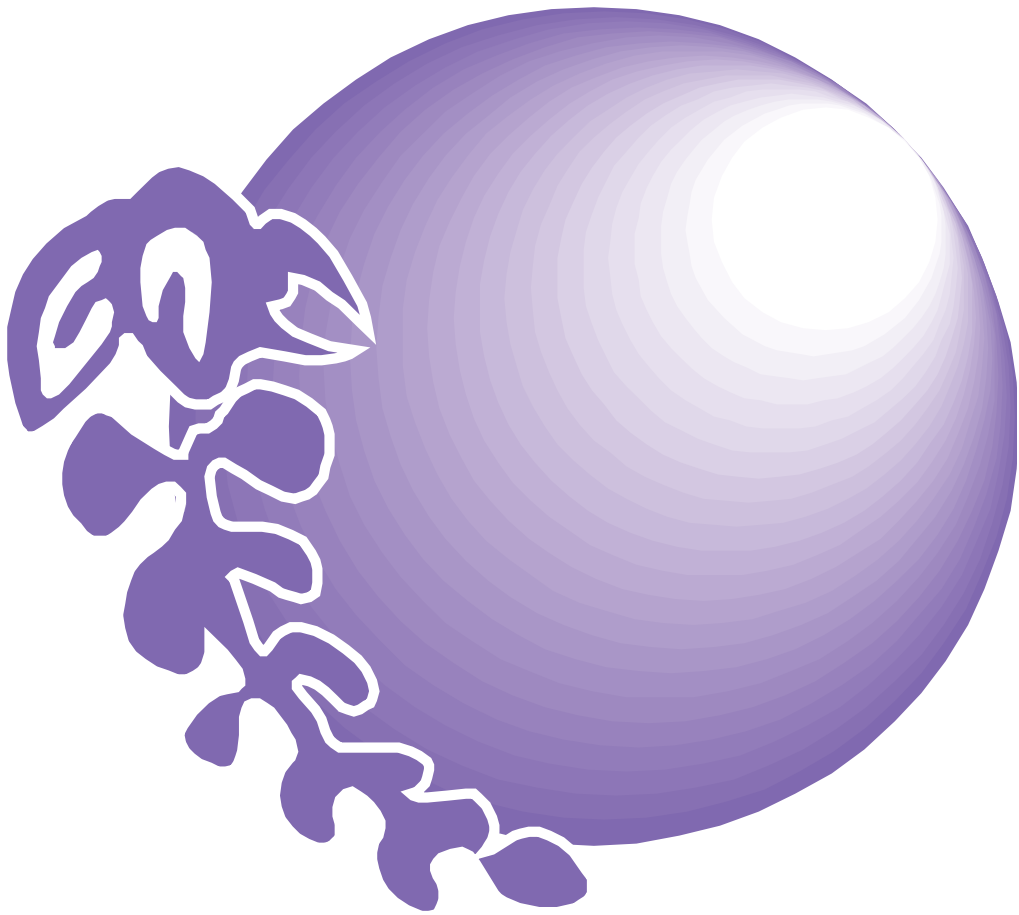


平成23年度

事業報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日)



学校法人 **高崎健康福祉大学**

平成23年度 事業報告書 目次

理事長挨拶	1
1 法人の概要	
1-1 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況	2
1-2 学園の沿革	3
1-3 役員・評議員・教職員の概要	4
1-4 学校法人組織機構図	5
2 事業の概要	
2-1 学部設置	6
2-2 トピックス	6
2-3 施設設備	9
3 財務の概要	
3-1 計算書類等	10
3-2 消費収支計算の推移	17
3-3 消費収支計算の推移のグラフ	18
3-4 消費収支計算の財務比率の推移	20
3-5 資金収支計算書	21
3-6 資金収支計算書 収入の部	21
3-7 資金収支計算書 支出の部	21
3-8 消費収支計算書	21
3-9 貸借対照表	22
3-10 監査報告書	23
4 今後の課題	23

理事長挨拶

学園理事長・学長 須藤賢一(農学博士)

■略歴

- ・北海道大学大学院農学研究科博士課程修了
- ・農林水産省森林総合研究所成分利用研究室室長
- ・ポストドクターとしてカナダ・サスカチュワン大学化学工学科で研究活動
- ・平成3年から群馬女子短期大学副学長として学園に赴任、以降同短期大学長、学園理事長として現在に至る
- ・群馬県私立大学協会会長



本学は、4学部7学科で健康、医療、福祉、および保育・教育分野のスペシャリストの養成に努めております。本学の教育・研究の使命は確かな学士力を基礎に21世紀の我が国社会を支え、より良いものとする自立した責任ある社会人を育成することにあります。その精神的バックボーンとして「自利利他」の精神を掲げております。

大学で学ぶということは人生の礎を築くことです。人はそれぞれ内なる可能性を秘めております。その可能性を現実のものとするには自己開発が必要です。自他に対する受け身の姿勢では何ほどのことも生まれません。これまで本学の学生は苦勞しながらも成し遂げてきました。自己開発して目標を達成すること。これが本学開学以来、「師弟不二」の精神で教員と学生が切磋琢磨して培ってきた本学の伝統です。

我が国社会は年金、医療、介護など将来の見通しは不確かの状況で経済的にも厳しい状況にあります。現在の困難を突破して我が国の未来を築き、支えるのは皆さんです。高校生の皆さん、本学で自己への挑戦に臨んでみませんか。

～高崎健康福祉大学HPより～

1 法人の概要

1-1 設置する学校・学部・学科及び入学定員、学生数の状況

学校名	学部・専攻・学科・課程	開設年度	入学定員 (人)	編入学定員 (人)	収容定員 (人)	現員 (人)
高崎健康福祉大学 大学院	健康福祉学研究科(修士) 医療福祉情報学専攻	平成17年度	3	—	6	4
	保健福祉学専攻		3	—	6	2
	食品栄養学専攻		4	—	8	6
	健康福祉学研究科(博士) 保健福祉学専攻	平成19年度	3	—	9	9
	食品栄養学専攻		2	—	6	1
	計		15	—	35	22
高崎健康福祉大学	健康福祉学部 医療情報学科	平成13年度	70	2年次 2 3年次 2	290	340
	社会福祉学科		60	2年次 5 3年次 5	345	266
	健康栄養学科		80	—	320	341
	薬学部 薬学科	平成18年度	90	—	540	550
	保健医療学部 看護学科	平成22年度	80	3年次 5	330	391
	理学療法学科		40	—	80	89
計		420	0	1,905	1,977	
高崎健康福祉大学 短期大学部	児童福祉学科	平成14年度	100	—	200	190
高崎健康福祉大学 高崎高等学校	普通科 全日制課程	昭和43年度	460	—	1,420	1,266
高崎健康福祉大学 附属幼稚園	—	昭和49年度	120	—	360	357

*現員数は平成23年5月1日現在

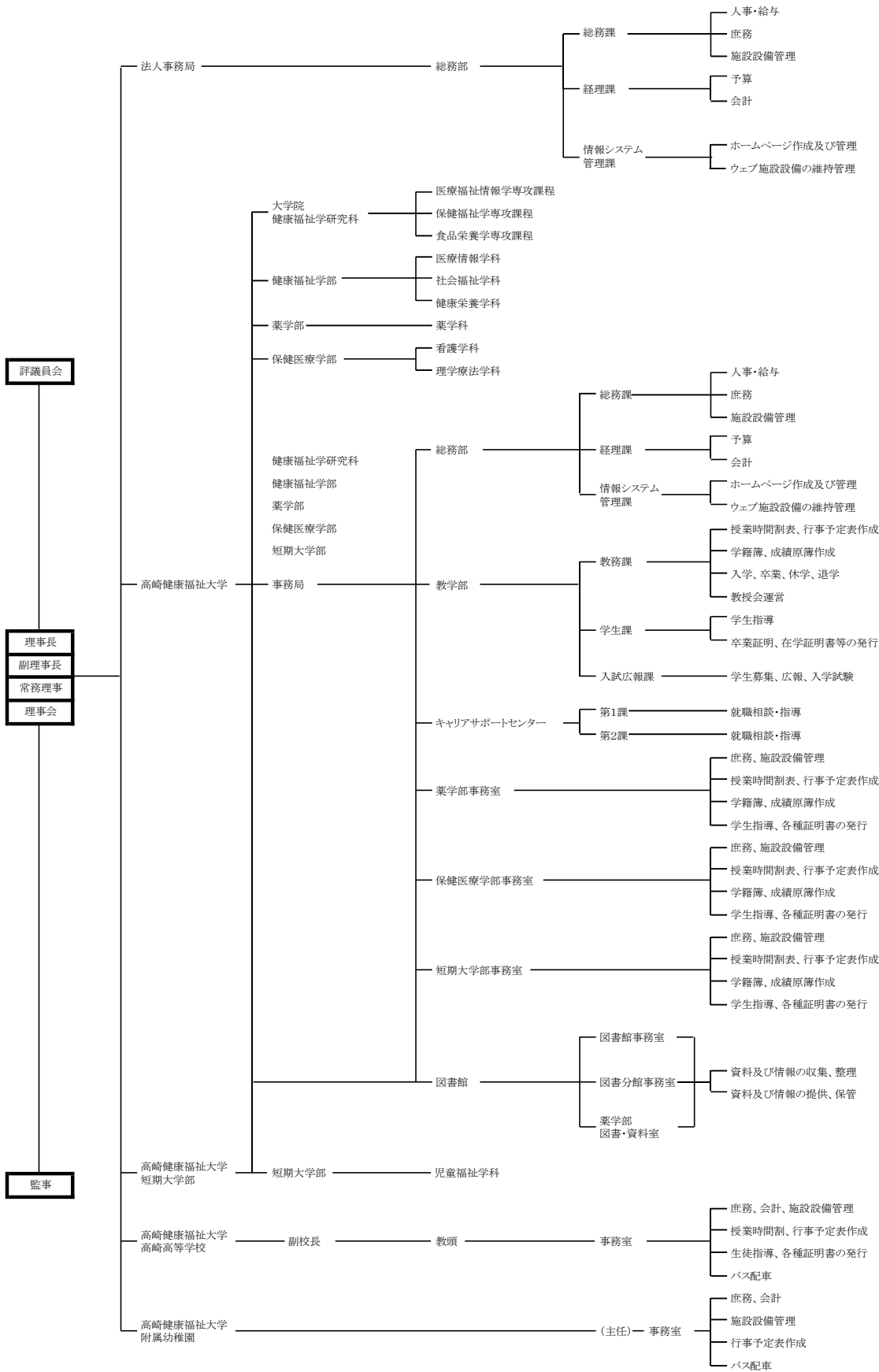
1-2 学園の沿革

昭和11年	2月10日	須藤和洋裁女学院を創立
昭和24年	2月21日	須藤和洋裁女学院を設立認可
昭和29年	12月18日	財団法人須藤学園を設立認可 須藤高等技芸学校と改称
昭和35年	2月20日	準学校法人須藤学園を設立認可
昭和41年	1月27日	学校法人須藤学園を設立認可
〃	〃	群馬女子短期大学家政科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和42年	1月23日	群馬女子短期大学国文科を設置認可、同年4月1日から開学
昭和43年	1月17日	群馬女子短期大学附属高等学校普通科「全日制課程」を設置認可、同年4月1日から開校
昭和44年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科・国文学科と改称
昭和45年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を家政専攻(40人)・食物栄養専攻(40人)に専攻分離
昭和46年	4月3日	学校法人群馬女子学園と改称
昭和49年	2月27日	群馬女子短期大学附属幼稚園を設置認可、同年4月1日から開園
昭和63年	12月22日	群馬女子短期大学経営情報学科を設置認可、平成元年4月1日から開学
平成2年	4月1日	群馬女子短期大学家政学科を生活学科に、家政専攻を生活教養専攻と改称
平成11年	12月22日	群馬女子短期大学国文学科を日本語コミュニケーション学科に、経営情報学科を情報文化学科に設置認可、平成12年4月1日から開学
平成12年	12月21日	高崎健康福祉大学健康福祉学部健康情報学科、保健福祉学科、健康栄養学科設置認可、平成13年4月1日から開学
平成13年	4月1日	学校法人高崎健康福祉大学、高崎健康福祉大学短期大学部、高崎健康福祉大学高崎高等学校、高崎健康福祉大学附属幼稚園と改称
平成13年	8月1日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科児童福祉専攻(80人)設置認可、平成14年4月1日
平成13年	10月30日	高崎健康福祉大学短期大学部国文学科及び経営情報学科廃止認可
平成14年	12月19日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を設置認可、平成15年4月1日から開学
平成16年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部日本語コミュニケーション学科を廃止
平成16年	4月1日	高崎健康福祉大学健康情報学科を医療福祉情報学科に改称し入学定員を70名に、健康栄養学科の入学定員を80名に、高崎健康福祉大学短期大学部生活学科生活教養専攻並びに児童福祉専攻を改組し、生活学科と児童福祉学科を設置
平成16年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科設置認可、平成17年4月1日から開学
平成17年	12月5日	高崎健康福祉大学薬学部薬学科及び看護学部看護学科設置認可、平成18年4月1日から開学
平成18年	11月30日	高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科(博士後期課程)設置認可、平成19年4月1日から開学
平成19年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部生活学科を廃止
平成19年	9月30日	高崎健康福祉大学短期大学部情報文化学科を廃止
平成21年	3月31日	高崎健康福祉大学短期大学部看護学科を廃止
平成21年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療福祉情報学科を医療情報学科に保健福祉学科を社会福祉学科に改称
平成22年	4月1日	高崎健康福祉大学健康福祉学部社会福祉学科の入学定員を60名に、高崎健康福祉大学看護学部を保健医療学部へ改称、高崎健康福祉大学保健医療学部理学療法学科を開学
平成23年	10月24日	高崎健康福祉大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程、保健医療学研究科看護学専攻修士課程、高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科を設置認可、平成24年4月1日から開学

1-3 役員・評議員・教職員の概要

理事	理事長	須藤 賢一	監事	野口 豊
	副理事長	磯貝 昭夫		伊藤 文隆
	常務理事	平川 敬		
	内部理事	他3名		
	外部理事	他5名		
評議員		24名		
教職員	大・短教員	175名		
	高・幼教員	94名		
	職員	66名		

1-4 学校法人組織機構図



2 事業の概要

2-1 学部設置

平成24年4月設置

○人間発達学部子ども教育学科設置

現在、保育・教育の現場では子どもの成長を長い目で見通せる人材が求められています。高崎健康福祉大学はこうした社会の要請に応じて保育・教育分野における5つの国家資格を用意して、3つの資格取得をバックアップする人間発達学部子ども教育学科を平成24年4月設置します。健康・医療・福祉の総合大学として培った福祉マインドや知の財産を生かしながら、人間の発達段階をトータルに理解した「子どもの専門家」を育成します。

2-2 トピックス

○平成24年3月卒業生の就職内定率

就職氷河期の再来と言われた昨年の採用環境下で活動する先輩の姿を見てきた平成24年卒業生は強い危機感を持って、就職活動を行ないました。

その結果平成24年3月卒業生の就職内定率は健康福祉学部92.6%・看護学部100%・薬学部80.0%・短期大学部100%の状況でした。

全国的に大学生の就職環境の厳しい中で、本学の学生達は、資格や専門性を活かして就職活動に臨み、本年度も全国平均を上回るすばらしい結果を残しました。

キャリアサポートセンターでは、就職支援体制として20数回の就職講座・キャリアカウンセラーによるエントリーシートの添削や模擬面接の実施など実践に即した指導なども行なっています。また、アドバイザーの教員との連携を密にして、学生に対して全学挙げて就職支援に取り組んでいます。

表1 健康福祉学部就職内定率

健康福祉学部	医療福祉情報	保健福祉	健康栄養	合計
卒業者	67名	62名	86名	215名
大学院等進学	5名	0名	4名	9名
就職希望者	61名	61名	82名	204名
就職者数	51名	59名	79名	189名
内定率	83.6%	96.7%	96.3%	92.6%

表2 保健医療学部就職内定率

保健医療学部	看護学科	合計
卒業者	95名	95名
大学院等進学	1名	1名
就職希望者	91名	91名
就職者数	91名	91名
内定率	100.0%	100.0%

表3 薬学部就職内定率

薬学部	薬学部	合計
卒業者	78名	78名
大学等進学	3名	3名
就職希望者	75名	75名
就職者数	60名	60名
内定率	80.0%	80.0%

表4 短期大学部就職内定率

短期大学部	児童福祉	合計
卒業者	87名	87名
大学等進学	2名	2名
就職希望者	82名	82名
就職者数	82名	82名
内定率	100.0%	100.0%

○国試等の合格者数・合格率

平成23年度卒業生(診療情報管理士は3年生含む)の国試等の合格者(合格率)は以下の通りです。

表5 国試等の合格者数・合格率

学科	試験	受験者	合格者	合格率(%)
医療福祉情報	診療情報管理士認定試験	33名	15名	45.5%
保健福祉	社会福祉士国家試験	56名	11名	19.6%
	精神保健福祉士国家試験	13名	4名	30.8%
健康栄養	管理栄養士国家試験	85名	84名	98.8%
看護	看護師国家試験	92名	92名	100.0%
	保健師国家試験	95名	82名	86.3%
薬	薬剤師国家試験	78名	56名	71.8%
	臨床検査技師国家試験	5名	3名	60.0%

○東日本大震災関係

・平成23年4月、東日本大震災のために学費減免対象者を選出することとなり、学部生で13名、大学院生で1名が対象となりました。前期は5名が学費全額、9名が学費半額免除となりました。後期は2名が全額、12名が半額免除となりました。

・東日本大震災関係のボランティア活動は、ボランティア・市民活動支援センターに報告があった分で以下のとおりです。(個人的な活動をしている者もいるため)

- 義援金募金活動
- 片品村・高崎市吉井町における避難者の支援活動視察
- 学生向け災害ボランティア活動ガイドの実施
- 牛伏ドリームセンターにおける保育ボランティアの支援
- 東日本大震災支援ボランティア活動報告会の実施

上記の他、専門職として現地や避難所へのボランティアにも、本学教職員が参加いたしました。

・日赤看護大学OB会として看護学科教授1名が震災発生から2週間後に福島県双葉町の約1,000人が避難していた「さいたまアリーナ」でボランティア活動を実施しました。内容は、福島第1原発の事故を受けて避難者の傾聴と荷物整理で、傾聴を通して①地震体験を通して死の恐怖②津波による膨大な被害③原子力発電所の被害に対する怒り④心の深い闇などの4つの柱が見えました。不安と恐怖と怒りの複雑な気持ちを聞くことができ、今後も引き続き感情を表出する過程が大事であり、長期的な心身の継続ケアをする必要があると考えます。

・群馬県から要請を受け、看護学科教授3名・准教授1名が保健師の立場で福島県から草津町に平成23年5月に避難していた100人近い方々の血圧測定・口腔ケアなど日常の注意や、心のケアなどを数回にわたり実施しました。

・理学療法学科では、東日本大震災関係の支援として、教員による群馬県内に避難されてきている方への理学療法の提供が行われました。主に福島県から避難されてきている方が、片品村と東吾妻町に多くおられたため介入をさせていただきました。慣れない環境と仕事や人的交流の減少などにより、生活が不活発となりがちで、特に高齢の方や障害を持たれている方は身体機能の低下が危惧されるために、主にその予防的対応が必要となります。生活不活発病の説明や簡単な体操を指導することにより予防できたと考えます。こうした活動を通して、避難されてきた方々のこころのケアにも役立つことができたと感じました。

・平成23年5月14日から21日の8日間と8月2日から6日の5日間の計2回、日本理学療法士協会および宮城県理学療法士会の要請を受け、理学療法学科の講師1名が東日本大震災後の地域リハビリテーション支援活動に参加しました。活動地域は、気仙沼市と石巻市で、現地の行政に勤務する理学療法士(コーディネーター)のもと、全国から集まった他の支援者と共に生活不活発病の予防や、歩行補助具の提供と調整、医療福祉施設のリハビリテーションサービス再開までの理学療法の提供などを行いました。活動後は本学学生および教職員を対象とした震災支援報告会を実施し、さらに平成24年3月には本学関係者の他の支援活動を含めて、一般公開の報告会も実施しました。

・平成24年3月6日・7日、短期大学部児童福祉学科の学生たちで組織されている和太鼓集団「舞」が被災地の保育施設を訪問し、和太鼓演奏の披露と保育ボランティア活動を行いました。訪問先は、宮城県亘理町立荒浜保育所・亘理保育所、宮城県仙台市鶴巻児童館、陸前高田市立高田保育所です。

3か所の保育施設の訪問演奏では学生たち自身も被災地を目の当たりにし、多くの学びを得ることができました。この経験は今後の実習や保育に活かされることと思います。

○その他の事業

・平成23年5月30日(月)に伊勢崎市教育委員会と本学との伊勢崎市立学校の教育活動への支援に関する覚書締結式が伊勢崎市役所にて行われました。

この締結は、伊勢崎市教育委員会と本学は、相互の教育・研究と通じて、将来の地域社会を担う国際的視野に立った立派な人材を育成するため相互に連携・協力するものとされ、今後、教育活動への支援や情報提供等行われます。

・中学生の理科離れが問題になる中、近隣の大類中学校の生徒さんを対象とした理科イベントを実施してきました。昨年度は、独立行政法人 科学技術振興機構のサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)の採択を受け、その一環として実施しましたが、本年度は大学独自の「理科スクール」として開催しました。

8月11日(木)に、大類中学校の2年生に本学キャンパスを訪問してもらい、医療機器や実験を通じた親しみやすい体験授業に参加して頂きました。体験を通じて、医療や科学技術の分野への興味と関心を高め、自分の将来を考える上での参考にしてもらおうという趣旨です。実施内容は以下の通りです。

- 医療機器に学ぶ光と音の世界(医療情報学科)
- 食品からDNAを抽出してみよう(健康栄養学科)
- 科学捜査に挑戦！クロマトグラフィーによる化学物質の分離(薬学科)
- 身近にある水に含まれる酸素量を測定してみよう(薬学科)

当日は、57名の生徒さんが参加し、各テーマを楽しそうに体験していました。当日実施したアンケートにおいても、「面白かった」、「医療や理科・科学技術の分野への興味・関心が高まった」、「自分の進路の参考になった」等の意見・感想が寄せられ、大変好評でした。

・平成23年10月、昨年度に引き続いて、東日本盲導犬協会より、大学学友会からの寄付金に対する感謝状をいただきました。

・インドネシアステカス大学と高崎健康福祉大学の学術交流協定の締結を平成23年10月12日(水)にジョグジャカルタ市内にあるインドネシアステカス大学内で執り行われました。

日本側は学長はじめ国際担当の2名とインドネシア側はDr.I.EdyPurwokoはじめ大学の教職員と事務方総勢40名近くが集まり式典が執り行われました。目的は、教育及び研究に関する資料、出版物、学術情報の交流・教職員の交流・学生の交流・教育及び学術に関する共同研究等の活動が順調に運び、なおかつ最大の効果がお互いの大学が努力し進めることが決まりました。

今回、この協定に基づき平成24年3月18日～24日まで看護学科の国際保健医療論の一環として教員2名と学生14名がステカス大学を訪問・交流して参りました。今後は看護学科に限らず、全学的に国際交流の必要性もあり、提携大学を増やしていく予定です。

・平成23年11月5日(土)、6日(日)、12日(土)の3日間にわたり、高崎健康福祉大学公開講座(ぐんま県民カレッジ連携講座)「生涯、健康でありたいあなたのために～世代別(こども、成人、高齢者)健康のポイント～」が開催されました。学生から一般の方まで多くの方が参加して下さいました。

・平成23年12月10日から11日にかけて、本学薬学棟において「褥瘡治療薬サミットin群馬」が開催されました。チームで褥瘡に取り組んでいる病院薬剤師、在宅医療に取り組んでいる薬局薬剤師、あるいは褥瘡治療に興味のある方など、県内外から総勢165名という多くの方の参加がありました。今回のサミットを通して、褥瘡の薬物治療における薬剤師の関与を更に推進する非常に良い機会になったと期待されます。

・臨床実習に向けての学生評価をテーマに、保健医療学部教員を対象としたFD研修会を平成24年2月10日(金)に開催しました。

講師には、群馬大学大学院保健学研究科保健学専攻リハビリテーション学講座(理学療法学)准教授山路雄彦先生をお招きし、「OSCEの導入と実践について」講演していただきました。

・平成24年3月6日FD研修会を開催しました。講師には、愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 准教授 佐藤浩章先生をお招きし、『FDマップの効果的活用方法』というテーマで講演をしていただき、全学の教職員74名が参加しました。FDマップとはFDプログラムとして考えられる活動の全体像を体系的に示したもので、今回その開発の背景と他大学における使用例を学ぶことができました。今後の本学におけるFD活動の計画に活用していきたいと考えます。

・平成23年12月17日(土)に児童福祉学科にて健大クリスマスが行われました。このイベントは、近隣の親子や保育関係者を対象に、短期大学部と高崎健康福祉大学高崎高校との高大連携事業として毎年実施しているもので、今年は5回目となります。

今回準備されたのは、4つの遊びコーナー(「積み木」「絵本」「ボール投げ遊び～ゆきじろう&ゆきみ～」
「オーナメント作り」)と2つのシアター(影絵「一寸法師」・ミュージカル「トナカイさんからのおくりもの」)です。短大の学生達は、放課後遅くまで残り、各遊びコーナーの準備やシアターの練習を行いました。また、前日からは高校生たちもスタッフとして加わり、一緒に子ども達を迎える準備をしてくれました。

当日は、総勢160名以上の親子が訪れ、8号館の館内は子ども達の元気いっぱいの笑顔であふれました。

・平成24年1月6日～9日まで、北海道苫小牧市で日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)が開催され、大学スケート部が総合3位に入賞いたしました。また、リレーではコンマの争いを制し、優勝することができました。

・平成23年5月に行われた群馬県高等学校総合体育大会では、健大高崎高校においては女子の部でソフトテニス・バレーボール・ソフトボールが優勝し、個人でも女子ソフトテニス、女子剣道、男子カヌーが優勝しました。入場行進優秀校賞(26年連続)も受賞しました。また、関東大会では、女子ソフトボールが群馬県勢として史上2校目の優勝を果たしました。

・健大高崎高校硬式野球部は、悲願でありました夏の甲子園(第93回全国高等学校野球選手権大会)初出場を果たし、2回戦で敗れはしたものの開幕戦で勝利を収めました。秋季関東大会ではベスト4に入り、春の甲子園(第84回選抜高校野球大会)初出場を果たしベスト4という輝かしい実績を残しました。

・健大高崎高校進学実績においては難関国公立大学へ21名が合格。私立大学へも309名が合格しました。

・幼稚園の未就園児教室(2～3歳)「りんごクラブ」は3年目を迎え、毎日未就園児でにぎわっています。幼稚園で遊んだり給食を食べたりし、集団生活を経験しています。

・幼稚園では食育プロジェクトとして大学健康栄養学科と連携し4歳児では大学生による栄養指導、5歳児では大学生との調理実習、また、母親・父と子の食育プロジェクト(調理実習)を実施。園児とその家族の食育に努めて参りました。5歳児においては田んぼでの田植え、稲刈りを実施し米が成長する過程を学んだり収穫の喜びを味わうことができました。

・幼稚園では保護者のサークル活動が活発に行われています。「読み聞かせ」「人形劇」「コーラス」「ソーイング」の4つのサークルに希望者が参加し、園児の前で絵本を読み聞かせたり、人形劇を披露したりしています。読み聞かせサークルでは手作り絵本を作成し、園に寄付して頂きました。

2-3 施設設備

○大学1号館フレキシブル・マルチメディア教室

大学におけるICTを利用した教育は多岐にわたり、大きな比重を占めるようになってきており、今後ますますその重要性は増してきています。そこで現PC室を、ICTを利用した教育における様々なニーズや、学生の履修状況に柔軟に対応するため、フレキシブル・マルチメディア教室として整備しました。

また、この事業は文部科学省による平成23年度私立学校施設整備費補助金(私立学校教育研究装置等施設整備費(私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費))の交付を受けております。

○高校新校舎

高校校舎の老朽化に伴い、西館、本館校舎を取壊し新校舎の建設が始まりました。耐震・防音性に優れた中庭付き4階建ての立派な校舎となります。平成24年度から使用でき、生徒たちは最新の設備が整った校舎で有意義な高校生活を送れることでしょう。

3 財務の概要

3-1 計算書類等

資金収支計算書

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,810,456,000	3,809,156,050	1,299,950
手数料収入	130,150,000	115,084,690	15,065,310
寄付金収入	45,795,000	45,578,275	216,725
補助金収入	922,714,000	1,097,561,479	△ 174,847,479
国庫補助金収入	417,900,000	590,558,000	△ 172,658,000
県補助金収入	501,370,000	503,555,159	△ 2,185,159
市町村補助金収入	3,444,000	3,448,320	△ 4,320
資産運用収入	28,251,000	27,455,871	795,129
資産売却収入	158,459,000	160,862,747	△ 2,403,747
事業収入	163,711,000	171,526,322	△ 7,815,322
雑収入	75,157,000	80,351,394	△ 5,194,394
借入金等収入	300,000,000	300,000,000	0
前受金収入	621,290,000	654,865,000	△ 33,575,000
その他の収入	184,320,000	195,596,834	△ 11,276,834
資金収入調整勘定	△ 679,250,000	△ 693,585,068	14,335,068
前年度繰越支払資金	1,468,540,000	1,468,543,821	
収入の部 合計	7,229,593,000	7,432,997,415	△ 203,404,415
支出の部			
人件費支出	2,562,310,000	2,559,715,735	2,594,265
教育研究経費支出	1,260,050,000	1,259,102,189	947,811
管理経費支出	386,900,000	382,957,963	3,942,037
借入金等利息支出	3,380,000	2,077,067	1,302,933
借入金等返済支出	67,000,000	67,000,000	0
施設関係支出	935,120,000	935,039,008	80,992
設備関係支出	184,160,000	178,546,186	5,613,814
資産運用支出	426,560,000	428,340,607	△ 1,780,607
その他の支出	96,540,000	106,422,458	△ 9,882,458
(予備費)	(20,000,000)		0
資金支出調整勘定	△ 71,940,000	△ 78,524,406	6,584,406
次年度繰越支払資金	1,359,513,000	1,592,320,608	△ 232,807,608
支出の部 合計	7,229,593,000	7,432,997,415	△ 203,404,415

資金収支内訳表

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	短期大学部	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	2,979,298,800	199,237,500	496,840,250	133,779,500
手数料収入	5,210,000	64,800,820	1,008,130	43,787,740	278,000
寄付金収入	0	37,031,000	4,219,000	3,873,000	455,275
補助金収入	0	532,932,181	58,640,796	452,494,702	53,493,800
国庫補助金収入	0	531,951,000	58,607,000	0	0
県補助金収入	0	819,159	0	452,335,000	50,401,000
市町村補助金収入	0	162,022	33,796	159,702	3,092,800
資産運用収入	1,739,000	17,787,698	1,418,385	5,096,684	1,414,104
資産売却収入	160,862,747	0	0	0	0
事業収入	0	93,438,200	9,400,075	67,302,747	1,385,300
雑収入	13,598	26,900,066	2,024,825	47,508,443	3,904,462
借入金等収入	0	0	0	300,000,000	0
計	167,825,345	3,752,188,765	275,948,711	1,416,903,566	194,710,441

支出の部

(単位：円)

科目	部門 学校法人	高崎健康 福祉大学	短期大学部	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
人件費支出	26,570,374	1,657,289,285	163,721,331	609,518,013	102,616,732
教育研究経費支出	0	737,047,253	47,731,139	428,029,171	46,294,626
管理経費支出	38,392,452	231,834,759	13,457,759	92,377,389	6,895,604
借入金等利息支出	0	0	966,190	1,110,877	0
借入金等返済支出	0	0	50,000,000	17,000,000	0
施設関係支出	0	4,095,000	0	928,949,008	1,995,000
設備関係支出	0	146,741,217	4,028,796	26,425,423	1,350,750
計	64,962,826	2,777,007,514	279,905,215	2,103,409,881	159,152,712

人件費支出内訳表

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

(単位:円)

科目	部門	学校法人	高崎健康 福祉大学	短期大学部	健大高崎 高等学校	附属幼稚園
教員人件費支出		0	1,305,719,468	136,070,246	506,619,617	83,482,263
本務教員		0	1,276,386,430	130,961,478	486,714,191	81,118,466
本俸		0	707,653,596	74,541,000	269,744,600	46,940,900
期末手当		0	279,684,500	27,157,100	107,225,600	17,351,700
その他の手当		0	117,074,669	12,386,735	39,475,276	6,231,664
所定福利費		0	171,973,665	16,876,643	70,268,715	10,594,202
兼務教員		0	29,333,038	5,108,768	19,905,426	2,363,797
職員人件費支出		25,730,374	337,187,268	26,460,835	53,854,896	15,400,969
本務職員		25,723,374	297,710,603	24,879,494	44,417,791	11,162,169
本俸		12,830,400	156,943,784	13,148,400	23,292,000	6,087,600
期末手当		6,678,900	64,877,600	5,451,800	9,814,700	2,561,800
その他の手当		4,849,224	35,474,522	2,598,664	4,776,246	1,032,656
所定福利費		1,364,850	40,414,697	3,680,630	6,534,845	1,480,113
兼務職員		7,000	39,476,665	1,581,341	9,437,105	4,238,800
役員報酬支出		840,000	0	0	0	0
退職金支出		0	14,382,549	1,190,250	49,043,500	3,733,500
教員		0	12,581,349	821,250	49,043,500	3,733,500
職員		0	1,801,200	369,000	0	0
合計		26,570,374	1,657,289,285	163,721,331	609,518,013	102,616,732

消費収支計算書

平成23年 4月 1日から

平成24年 3月31日まで

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	3,810,456,000	3,809,156,050	1,299,950
手数料	130,150,000	115,084,690	15,065,310
寄付金	48,525,000	49,376,270	△ 851,270
補助金	922,714,000	1,097,561,479	△ 174,847,479
国庫補助金	417,900,000	590,558,000	△ 172,658,000
県補助金	501,370,000	503,555,159	△ 2,185,159
市町村補助金	3,444,000	3,448,320	△ 4,320
資産運用収入	28,251,000	27,455,871	795,129
資産売却差額	0	883	△ 883
事業収入	163,711,000	171,526,322	△ 7,815,322
雑収入	75,157,000	80,351,394	△ 5,194,394
帰属収入 合計	5,178,964,000	5,350,512,959	△ 171,548,959
基本金組入額 合計	△ 366,220,000	△ 368,474,869	2,254,869
消費収入の部 合計	4,812,744,000	4,982,038,090	△ 169,294,090
支出の部			
人件費	2,562,310,000	2,559,715,735	2,594,265
教育研究経費	1,723,200,000	1,724,553,244	△ 1,353,244
管理経費	421,600,000	417,743,860	3,856,140
借入金等利息	3,380,000	2,077,067	1,302,933
資産処分差額	292,600,000	290,189,331	2,410,669
徴収不能額	430,000	425,000	5,000
(予備費)	(20,000,000)		20,000,000
消費支出の部 合計	5,023,520,000	4,994,704,237	28,815,763
当年度消費支出超過額	210,776,000	12,666,147	
前年度消費支出超過額	3,938,341,947	3,938,341,947	
翌年度消費支出超過額	4,149,117,947	3,951,008,094	

消費収支内訳表

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	短期大学部	健大高崎高等学校	附属幼稚園
学生生徒等納付金収入	0	2,979,298,800	199,237,500	496,840,250	133,779,500
手数料収入	5,210,000	64,800,820	1,008,130	43,787,740	278,000
寄付金収入	0	40,796,480	4,228,975	3,895,540	455,275
補助金収入	0	532,932,181	58,640,796	452,494,702	53,493,800
国庫補助金収入	0	531,951,000	58,607,000	0	0
県補助金収入	0	819,159	0	452,335,000	50,401,000
市町村補助金収入	0	162,022	33,796	159,702	3,092,800
資産運用収入	1,739,000	17,787,698	1,418,385	5,096,684	1,414,104
資産売却差額	883	0	0	0	0
事業収入	0	93,438,200	9,400,075	67,302,747	1,385,300
雑収入	13,598	26,900,066	2,024,825	47,508,443	3,904,462
帰属収入 合計	6,963,481	3,755,954,245	275,958,686	1,116,926,106	194,710,441
基本金組入額 合計	619,500	△ 144,588,219	△ 48,369,868	△ 172,790,532	△ 3,345,750
消費収入の部 合計	7,582,981	3,611,366,026	227,588,818	944,135,574	191,364,691

支出の部

(単位：円)

科目 \ 部門	学校法人	高崎健康福祉大学	短期大学部	健大高崎高等学校	附属幼稚園
人件費支出	26,570,374	1,657,289,285	163,721,331	609,518,013	102,616,732
教育研究経費支出	0	1,085,104,566	71,785,674	502,116,756	65,546,248
管理経費支出	41,522,905	251,979,908	15,229,536	100,286,044	8,725,467
借入金等利息	0	0	966,190	1,110,877	0
資産処分差額	15,141,359	1,001,327	12,376,868	261,669,777	0
徴収不能額	0	0	425,000	0	0
消費支出の部 合計	83,234,638	2,995,375,086	264,504,599	1,474,701,467	176,888,447

貸借対照表

平成24年 3月31日まで

(単位：円)

資 産 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定資産	11,764,846,001	11,178,986,752	585,859,249
有形固定資産	10,442,554,858	10,099,198,722	343,356,136
その他の固定資産	1,322,291,143	1,079,788,030	242,503,113
流動資産	1,698,381,848	1,667,694,535	30,687,313
資産の部 合計	13,463,227,849	12,846,681,287	616,546,562
負 債 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
固定負債	200,000,000	66,000,000	134,000,000
流動負債	897,917,170	771,179,330	126,737,840
負債の部 合計	1,097,917,170	837,179,330	260,737,840
基 本 金 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
第1号基本金	15,944,318,773	15,575,843,904	368,474,869
第3号基本金	100,000,000	100,000,000	0
第4号基本金	272,000,000	272,000,000	0
基本金の部 合計	16,316,318,773	15,947,843,904	368,474,869
消 費 収 支 差 額 の 部			
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	3,951,008,094	3,938,341,947	12,666,147
消費収支差額の部 合計	△ 3,951,008,094	△ 3,938,341,947	△ 12,666,147
科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計	13,463,227,849	12,846,681,287	616,546,562

財 産 目 録

平成24年 3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	23年度末
[1]資産総額	13,463,227,849
1、基本財産	10,442,554,858
(1)土地	108,459.23㎡ 1,337,514,818
(2)建物	51,935.08㎡ 6,347,012,245
建設仮勘定	1,076,596,674
(3)構築物	292,769,932
(4)図書	152,254冊 493,635,280
(5)教具・校具、及び備品	19,368点 882,735,662
(6)その他(車両)	12,290,247
2、運用財産	3,020,672,991
(1)預金、現金	1,592,320,608
(2)積立金	888,559,670
(3)有価証券	388,137,205
(4)借地権	2,500,000
(5)電話加入権	952,358
(6)出資金	500,000
(7)長期貸付金	20,140,000
(8)敷金	9,281,901
(9)未収入金	86,354,058
(10)短期貸付金	1,060,000
(11)前払金	9,569,543
(12)立替金	5,646,540
(13)ソフトウェア	12,220,009
(14)仮払金	197,310
(15)預け金	3,233,789
[2]負債総額	1,097,917,170
1、固定負債	200,000,000
(1)長期借入金	200,000,000
2、流動負債	897,917,170
(1)短期借入金	166,000,000
(2)前受金	654,865,000
(3)未払金	48,807,721
(4)預り金	28,244,449

3-2 消費収支計算の推移

(単位：円)

学 園	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
帰属収入	4,340,003,580	4,616,030,723	4,833,432,970	5,350,512,959
消費支出	4,152,891,926	4,092,497,806	4,457,246,276	4,994,704,237
人件費	2,266,172,298	2,342,175,917	2,480,600,190	2,559,715,735
教育研究経費	1,370,303,938	1,396,681,134	1,523,440,413	1,724,553,244
管理経費	352,721,553	351,275,745	369,075,661	417,743,860
その他	163,694,137	2,365,010	84,130,012	292,691,398

法 人	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
帰属収入	2,041,525	11,307,776	14,756,030	6,963,481
消費支出	206,328,430	76,113,684	109,579,444	83,234,638
人件費	26,968,688	43,752,037	29,353,867	26,570,374
教育研究経費	0	0	0	0
管理経費	17,923,968	31,558,514	18,783,720	41,522,905
その他	161,435,774	803,133	61,441,857	15,141,359

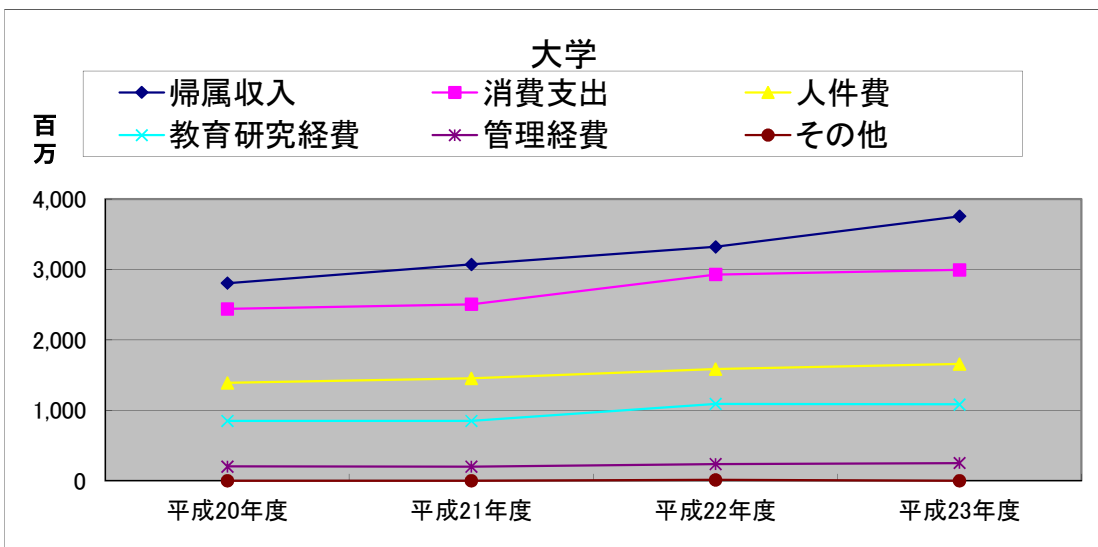
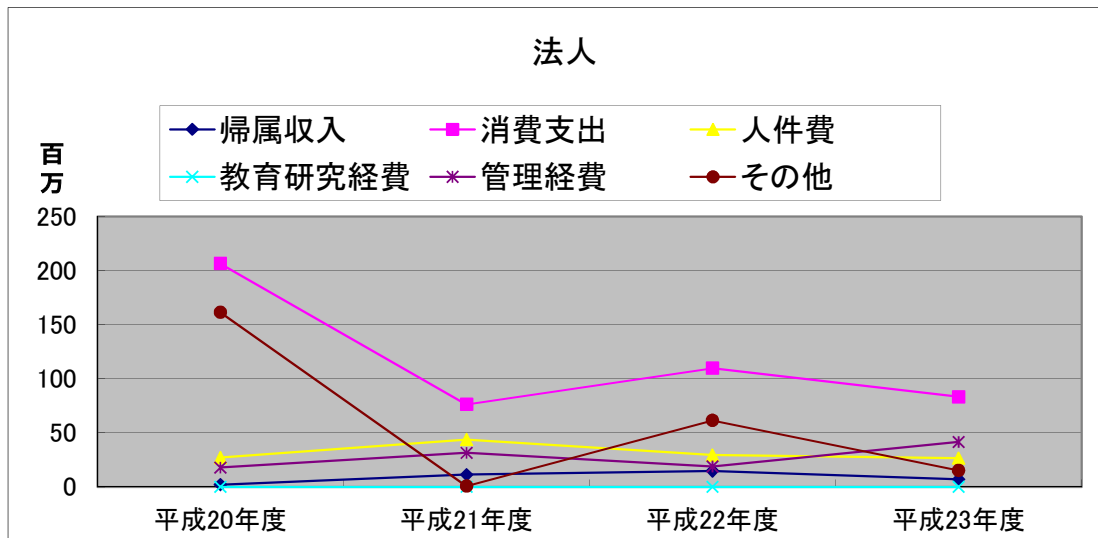
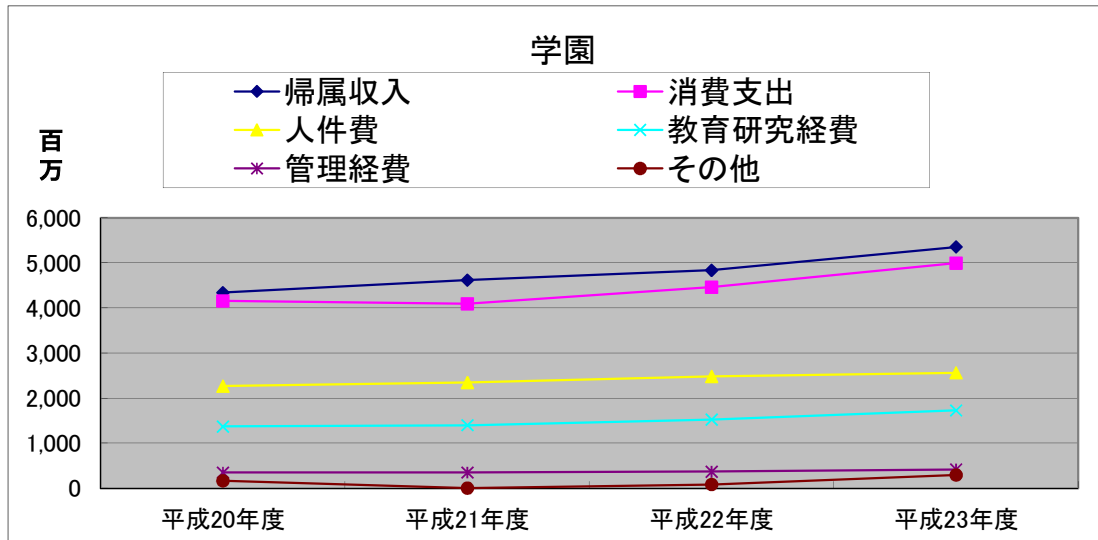
大 学	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
帰属収入	2,806,211,764	3,073,051,622	3,322,639,321	3,755,954,245
消費支出	2,440,564,767	2,506,191,556	2,928,958,755	2,995,375,086
人件費	1,389,387,080	1,454,041,946	1,587,453,320	1,657,289,285
教育研究経費	848,693,605	851,377,559	1,090,398,549	1,085,104,566
管理経費	202,286,668	200,442,596	237,473,015	251,979,908
その他	197,414	329,455	13,633,871	1,001,327

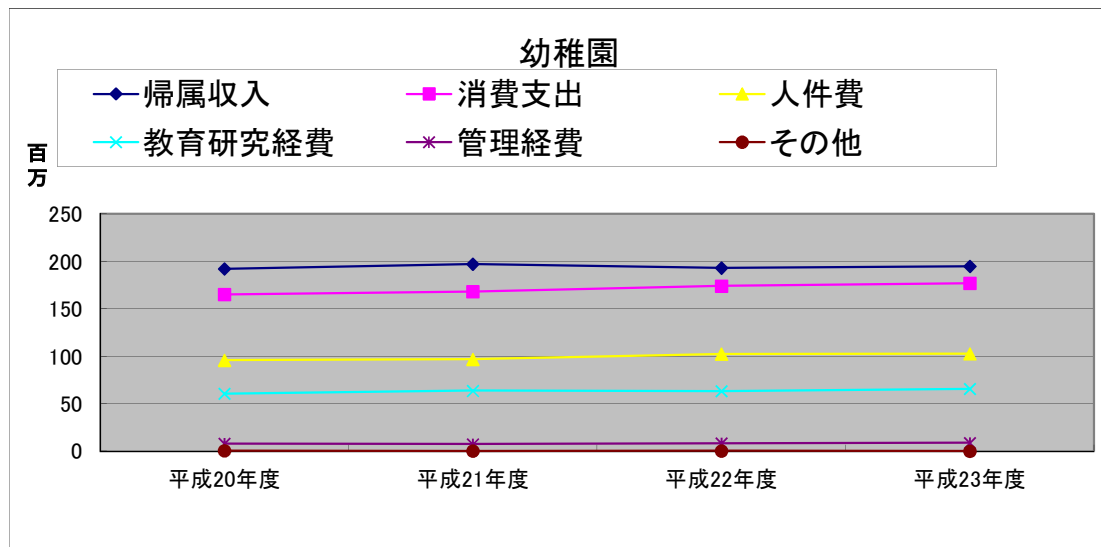
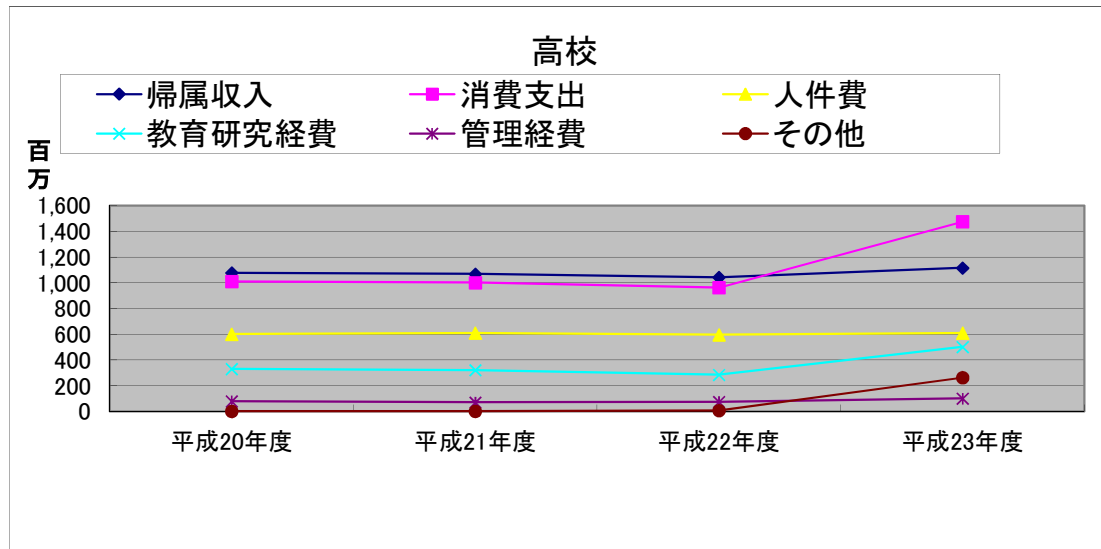
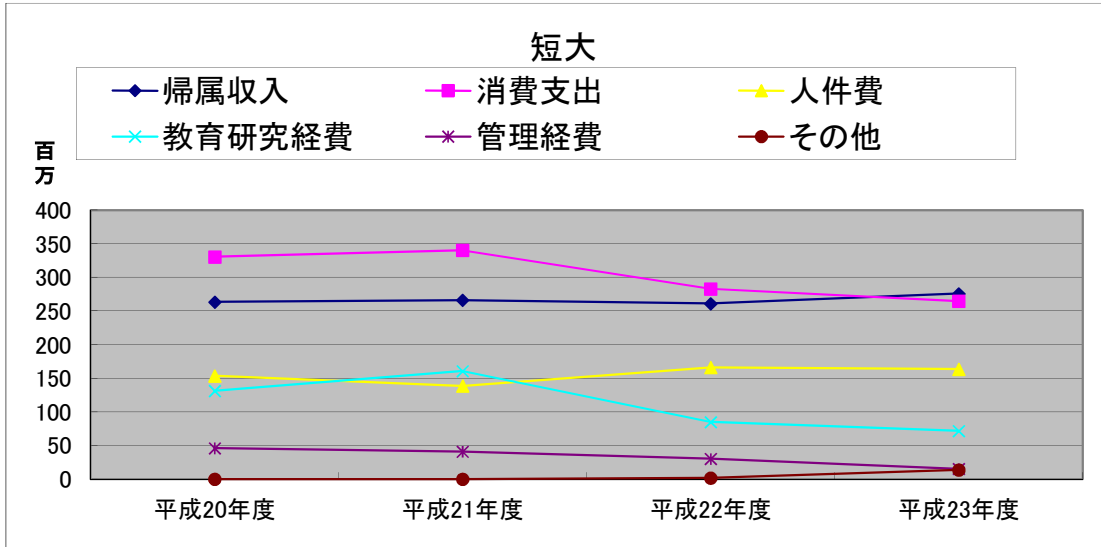
短 大	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
帰属収入	263,424,580	266,065,751	260,956,928	275,958,686
消費支出	330,600,177	340,172,995	283,010,672	264,504,599
人件費	153,455,892	138,623,095	166,098,128	163,721,331
教育研究経費	131,184,522	160,537,458	84,891,695	71,785,674
管理経費	45,959,763	41,012,442	30,344,872	15,229,536
その他	0	0	1,675,977	13,768,058

高 校	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
帰属収入	1,076,335,903	1,068,712,054	1,042,040,823	1,116,926,106
消費支出	1,010,385,750	1,001,990,423	961,757,409	1,474,701,467
人件費	600,499,087	609,023,112	595,406,754	609,518,013
教育研究経費	329,858,601	321,121,098	284,867,348	502,116,756
管理経費	78,559,355	70,866,684	74,441,736	100,286,044
その他	1,468,707	979,529	7,041,571	262,780,654

幼稚園	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
帰属収入	191,989,808	196,893,520	193,039,868	194,710,441
消費支出	165,012,802	168,029,148	173,939,996	176,888,447
人件費	95,861,551	96,735,727	102,288,121	102,616,732
教育研究経費	60,567,210	63,645,019	63,282,821	65,546,248
管理経費	7,991,799	7,395,509	8,032,318	8,725,467
その他	592,242	252,893	336,736	0

3-3 消費収支計算の推移のグラフ





3-4 消費収支計算の財務比率の推移

(%)

学園	算式	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費比率	人件費／帰属収入	52.2	50.7	51.3	47.8
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	31.5	30.2	31.5	32.2
管理経費比率	管理経費／帰属収入	8.1	7.6	7.6	7.8
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	4.3	11.3	7.7	6.6

法人	算式	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費比率	人件費／帰属収入	1,321.0	386.9	198.9	381.5
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	0.0	0.0	0.0	0.0
管理経費比率	管理経費／帰属収入	877.9	279.0	127.2	596.2
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	-10,006.5	-573.1	-642.6	-1,095.3

大学	算式	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費比率	人件費／帰属収入	49.5	47.3	47.7	44.1
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	30.2	27.7	32.8	28.8
管理経費比率	管理経費／帰属収入	7.2	6.5	7.1	6.7
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	13.0	18.4	11.8	20.2

短大	算式	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費比率	人件費／帰属収入	58.2	52.1	63.6	59.3
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	49.7	60.3	32.5	26.0
管理経費比率	管理経費／帰属収入	17.4	15.4	11.6	5.5
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	-25.5	-27.8	-8.4	4.1

高校	算式	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費比率	人件費／帰属収入	55.7	56.9	57.1	54.5
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	30.6	30.0	27.3	44.9
管理経費比率	管理経費／帰属収入	7.2	6.6	7.1	8.9
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	6.1	6.2	7.7	-32.0

幼稚園	算式	20年度	21年度	22年度	23年度
人件費比率	人件費／帰属収入	49.9	49.1	52.9	52.7
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	31.5	32.3	32.7	33.6
管理経費比率	管理経費／帰属収入	4.1	3.7	4.1	4.4
帰属収支差額比率	帰属収入－消費支出／帰属収入	14.0	14.6	9.8	9.1

3-5 資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の当該会計年度の諸活動に対応する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであり、かつ支払い資金の収入・支出の顛末を明らかにするものであります。

3-6 資金収支計算書 収入の部

学生生徒等納付金収入 予算3,810,456千円に対し決算3,809,156,050円で1,299,950円の減額、手数料収入 予算130,150千円に対し決算115,084,690円で15,065,310円の減額、寄付金収入 予算45,795千円に対し決算45,578,275円で216,725円の減額、補助金収入 予算922,714千円に対し決算1,097,561,479円で174,847,479円の増額、これは大学及び短期大学部の私立学校振興・共済事業団からの国庫補助金が当初見込額より増額したためである。資産運用収入 予算28,251千円に対し決算27,455,871円で795,129円の減額、資産売却収入 予算158,459千円に対し決算160,862,747円で2,403,747円の増額、これは投資信託の特別配当金が分配されたための増額である。事業収入は主に学生寮寮費及び学生駐車場の使用料、受託・共同研究費の収入であり、予算163,711千円に対し決算171,526,322円で7,815,322円の増額で、これは受託研究費収入が増額したためである。雑収入 予算75,157千円に対し決算80,351,394円で5,194,394円の増額、借入金等収入 予算300,000千円に対し決算300,000,000円で差異はなく、前受金収入 予算621,290千円に対し決算654,865,000円で33,575,000円の増額、その他の収入 予算184,320千円に対し決算195,596,834円で11,276,834円の増額、資金収入調整勘定 予算マイナス679,250千円に対し決算マイナス693,585,068円でマイナス14,335,068円の増額、前年度繰越支払資金 予算1,468,540千円に対し決算1,468,543,821円となり、収入の部合計 予算7,229,593千円に対し決算7,432,997,415円で203,404,415円の増額となった。

3-7 資金収支計算書 支出の部

人件費支出 予算2,562,310千円に対し決算2,559,715,735円で2,594,265円の減額、教育研究経費支出 予算1,260,050千円に対し決算1,259,102,189円で947,811円の減額、管理経費支出 予算386,900千円に対し決算382,957,963円で3,942,037円の減額、借入金等利息支出 予算3,380千円に対し決算2,077,067円で1,302,933円の減額、借入金等返済支出 予算67,000千円に対し決算67,000,000円で差異はなく、施設関係支出 予算935,120千円に対し決算935,039,008円で80,922円の減額、設備関係支出 予算184,160千円に対し決算178,546,186円で5,613,814円の減額、資産運用支出 予算426,560千円に対し決算428,340,607円で1,780,607円の増額、その他の支出 予算96,540千円に対し決算106,422,458円で9,882,458円の増額、資金支出調整勘定 予算マイナス71,940千円に対し決算マイナス78,524,406円でマイナス6,584,406円の増額となり、次年度繰越支払資金 予算1,359,513千円に対し決算1,592,320,608円で232,807,608円の増額となり、支出の部合計予算7,229,593千円に対し決算7,432,997,415円で203,404,415円の増額となった。

3-8 消費収支計算書

「消費収支計算書」は当該会計年度における消費収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示すもので、計算目的に違いはありますが、いわば企業会計の損益計算書にあたるものであります。

帰属収入合計 予算5,178,964千円に対し決算5,350,512,959円で171,548,959円の増額で、基本金組入額合計 予算マイナス366,220千円に対し決算マイナス368,474,869円でマイナス2,254,869円の増額となり、消費収入の部合計 予算4,812,744千円に対し決算4,982,038,090円で169,294,090円の増額となった。

消費支出合計 予算5,023,520千円に対し決算4,994,704,237円で28,815,763円の減額となり、当年度消費支出超過額は12,666,147円、前年度繰越消費支出超過額は3,938,341,947円、翌年度繰越消費支出超過額は3,951,008,094円となった。

3-9 貸借対照表

○ 資産の部

固定資産 本年度末11,764,846,001円に対し前年度末11,178,986,752円で585,859,249円の増額、流動資産 本年度末1,698,381,848円に対し前年度末1,667,694,535円で30,687,313円の増額となり、資産の部合計 本年度末13,463,227,849円に対し前年度末12,846,681,287円で616,546,562円の増額となった。

○ 負債の部

固定負債 本年度末200,000,000円に対し前年度末66,000,000円で134,000,000円の増額、流動負債 本年度末897,917,170円に対し前年度末771,179,330円で126,737,840円の増額であり、負債の部合計 本年度末1,097,917,170円に対し前年度末837,179,330円で260,737,840円の増額となった。

○ 基本金の部

第1号基本金は固定資産購入のためのものであり、本年度末15,944,318,773円に対し前年度末15,575,843,904円で368,474,869円の増額、第3号基本金は奨学金基金であり、本年度末100,000,000円に対し前年度末100,000,000円で増減はなく、第4号基本金は運営に必要な運転資金の額1カ月分を保持するためのもので、本年度末272,000,000円に対し前年度末272,000,000円で増減はなかった。基本金の部合計が本年度末16,316,318,773円に対し前年度末15,947,843,904円で368,474,869円の増額となった。

○ 消費収支差額の部

消費収支差額の部合計は本年度末マイナス3,951,008,094円に対し前年度末マイナス3,938,341,947円でマイナス12,666,147円の増額となり、負債の部、基本金の部、消費収支差の部合計本年度末13,463,227,849円に対し前年度末12,846,681,287円で616,546,562円の増額決算となった。

3-10 監査報告書

監 査 報 告 書

学校法人 高崎健康福祉大学
理事長 須藤 賢一 殿

平成24年 5月25日

学校法人 高崎健康福祉大学

監 事 野口 豊

監 事 伊藤 文隆



私たち監事は、私立学校法 37 条第 3 項及び学校法人高崎健康福祉大学寄附行為第 7 条各号の定めに基づき、平成 23 年度（平成 23 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）の法人の財産の状況及び学校法人の業務の執行の状況を監査いたしました。その結果につき下記のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

監事は、理事会、評議員会に出席したほか、理事から業務執行および財産の状況につき説明を求め、報告を聴取しました。また、会計監査人である「新日本有限責任監査法人」公認会計士と連携を図り、計算書類につき検討を加えた。

2. 監査の結果

- (1) 財産目録、事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、法令及び寄附行為に従い法人の財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 学校法人の業務の執行に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実はありません。

以上

4 今後の課題

平成24年4月から人間発達学部・子ども教育学科(短大児童福祉学科改組による)を開設し4学部7学科体制が整った。改組及び東日本大震災による東北地方からの流入もあり、入学志願者数は前年度比760名増加しており、平成24年5月1日現在の学生数は大学院を含めて2,297名(収容定員2,133名)で定員充足率は108%となります。

健大高崎高校の入学者も甲子園出場・校舎新築効果もあり529名(在学者1,389名)の入学者を迎えており、附属幼稚園の在園児数も345名であり、平成24年5月1日現在では学園全体で学生・生徒・園児の在籍者数は4031名に達しています。

平成13年から開始した短大から四大への改組も終了し学園全体としての志願者数及び入園・入学者数は少子化環境下においても順調に推移している。今後は数の維持はもとより、大学・高校・幼稚園の一層の質の向上に努め地域社会に貢献していきたい。

所在地

法人本部・大学健康福祉学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1

TEL 027-352-1290 FAX 027-353-2055

URL <http://www.takasaki-u.ac.jp>

大学保健医療学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町501

TEL 027-352-1291 FAX 027-352-1985

大学薬学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町60

TEL 027-352-1180 FAX 027-352-1118

短期大学部

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町58-2

TEL 027-352-5558 FAX 027-352-1311

高等学校

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町531

TEL 027-352-3460 FAX 027-353-0855

URL <http://www.tuhw-h.ed.jp>

幼稚園

〒370-0033 群馬県高崎市中大類町506-1

TEL 027-352-3461 FAX 027-352-7180

URL <http://takasaki-u-kinder.com>